

## レノンも訪れた東銀座

東京  
おでかけ  
日和

高級ブランドショップが華やかに並ぶ銀座の中心部から少し離れ、昭和通りを越えた地下鉄東銀座駅（東京都中央区）界隈は、庶民的な雰囲気の中に大人の隠れ家のような店が並ぶ。

平成25年に新装オープンした東銀座の顔、歌舞伎座から出発。すぐそばの「Flor de cafe 銀座樹の花」はジョン・レノンがオノ・ヨーコ夫人とともに訪れた喫茶店として有名だ。昭和54年、なんとオープン4日目のことだったという。店主の成沢弘子さんは「静かに顔を見合わせながらお話ししていらっしやっ」と印象を語る。店内には2人のサインが飾られる。

## 庶民的な中に隠れ家店



ジョン・レノンが訪れた喫茶店「Flor de cafe 銀座樹の花」＝東京都中央区

路地裏を進むと、老舗コロッケ店や関西風のたこ焼き店に列ができてい。さらに細い路地をのぞくと小粋なビストロや落ち着いた和食店、アンティーク食器店…と探検が楽しい。

画廊も目につくのは銀座ならではの。中でも「銀座レトロギャラリー」

MUSEE」はレンガ風タイルの重厚な外観が目を引く。運営する川崎力宏さんは昭和7（1932）年に建てられたビルを取り壊す予定で土地を購入。だが、大分県で老舗建設会社を営む一家出身で建築物が好きだったこともあり、壊す直前に思い直し改装、保存してギャラリーにすることに決めたそうだ。

「酒の駅」というユニークな看板につられ、帰りに「銀座酒ギャラリー」 麴屋三四郎酒舗本店」へ。「地方の酒を応援したい」という「酒師」藤田黎一さんが集めた東京ではあまり手に入らない日本酒200種類以上を扱い、店内で飲むこともできる。「日本酒の文化や知識を正しく伝えたい」と勉強会や蔵元ツアーも開催。藤田さんの気さくな人柄と珍しい一杯について、長居をしてしまいう「駅」だった。

首都圏ワイド